

2016年3月期 決算説明

2016年5月13日

当資料には、2016年5月13日現在の経営陣の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。経済情勢などに関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。
なお、数値は表示単位未満四捨五入で表示しています。



建設受注高（単体）

(単位:億円)	14/3期	15/3期	16/3期 計画	16/3期		
	実績	実績		実績	前期比 増減率	計画比 増減率
土木受注	741	853	640	616	-27.8%	-3.8%
－国内官庁	635	766	550	458	-40.2%	-16.8%
－国内民間	93	83	70	155	85.5%	121.2%
－海外	13	4	20	3	-22.2%	-85.7%
建築受注	494	544	470	512	-5.8%	9.0%
－国内官庁	90	74	75	76	3.1%	1.2%
－国内民間	376	396	365	396	-0.1%	8.4%
－海外	28	74	30	41	-45.0%	35.8%
建設受注計	1,234	1,396	1,110	1,128	-19.2%	1.6%

- 土木部門：国内民間の増加も、国内官庁の出件減少が響き、前期比△27.8%、計画比△3.8%
- 建築部門：国内民間市場の好調を背景に、採算性及び施工体制を確保しつつ、前期比△5.8%、計画比+9.0%

連結比較損益計算書

(単位:億円)	14/3期	15/3期	16/3期	16/3期		
	実績	実績	計画	実績	前期比 増減率	計画比 増減率
売上高	1,092	1,187	1,170	1,207	1.7%	3.2%
【参考】単体土木完工高	548	645	643	677	4.9%	5.2%
【参考】単体建築完工高	511	510	500	498	-2.3%	-0.4%
売上総利益(率)	64 5.9%	82 6.9%	87 7.4%	119 9.8%	44.6%	36.3%
【参考】単体土木完工利益	39 7.0%	45 7.0%	48 7.4%	63 9.2%	37.6%	31.6%
【参考】単体建築完工利益	16 3.2%	29 5.6%	31 6.1%	45 9.0%	57.0%	46.9%
一般管理費(率)	47 4.3%	49 4.1%	53 4.5%	52 4.3%	5.7%	-2.0%
営業利益(率)	17 1.6%	33 2.8%	34 2.9%	67 5.5%	102.6%	96.0%
経常利益(率)	10 0.9%	27 2.3%	29 2.5%	61 5.0%	125.7%	108.9%
当期純利益(率)	9 0.8%	24 2.1%	24 2.1%	61 5.1%	149.7%	154.8%

- 売上高：土木部門は順調に進捗し、建築部門もほぼ計画通りで、前期比+1.7%、計画比+3.2%
- 売上総利益：土木部門は順調な売上高計上等を反映、建築部門は売上高の減少も採算性が大幅に改善し、前期比+44.6%、計画比+36.3%
- 当期純利益：売上総利益の増加に、繰延税金資産の計上等もあり、前期比・計画比ともに大幅増加で、過去最高益を計上

連結比較貸借対照表

(単位:億円)	14/3期		15/3期		16/3期		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期比増減
資産							
一現金・預金	95	11.0%	149	16.3%	147	16.0%	-2
一受取手形・完成工事未収入金等	446	51.9%	440	48.0%	463	50.7%	23
一未成工事支出金等	20	2.3%	23	2.5%	15	1.6%	-9
一その他流動資産	88	10.3%	101	11.0%	86	9.4%	-16
一固定資産	210	24.5%	202	22.1%	204	22.3%	2
資産合計	859	100.0%	916	100.0%	915	100.0%	-1
負債							
一支払手形・工事未払金等	361	42.0%	398	43.4%	367	40.1%	-31
一短期借入金	122	14.2%	136	14.8%	0	0.0%	-136
一未成工事受入金	70	8.1%	48	5.2%	56	6.1%	8
一長期借入金	0	0.0%	0	0.0%	100	10.9%	100
一その他債務	175	20.4%	169	18.5%	173	18.9%	3
負債合計	728	84.8%	751	82.0%	695	76.0%	-56
純資産	131	15.2%	165	18.0%	220	24.0%	55
(自己資本比率)	15.2%		18.0%		24.0%		6.0%

- 純資産は、当期純利益の計上等により前期比+55億円、自己資本比率は+6ポイントの24.0%に上昇
- 負債は、借入金の減少等により前期比△56億円となり、総資産は、前期並みの915億円を維持

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)	14/3期 実績	15/3期 実績	16/3期	
			実績	前期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	26	27	43	16
－営業利益＋減価償却費	22	38	72	34
－債権債務増減等	8	-7	-24	-17
－営業外収支等調整	-4	-4	-5	-2
投資活動によるキャッシュ・フロー	-3	12	-8	-20
財務活動によるキャッシュ・フロー	-49	14	-36	-50
計（キャッシュ増減）	-25	54	-2	-57
現金及び現金同等物の期末残高	93	148	145	-2

■営業CFは、営業利益の大幅増により黒字を計上

■投資CF、財務CFでの資金減少と合わせ、現金等期末残高は、前期並みの145億円を確保

2016年度事業計画

中期3カ年計画

基本方針

◆基盤事業の収益力強化による安定的経営基盤の確保と新たな事業領域の確立

- ・ 業量拡大によらない、収益力の向上に注力
- ・ 今後3カ年は、国内マーケットに注力し、海外は将来に向けての基盤強化を推進
- ・ 中長期を展望して、事業領域の拡充と次世代新事業の創造を推進

2016年度
事業計画

上記基本方針のもと、施工体制の充実により業量を確保するとともに、採算重視の受注方針を継続、持続的成長を図るべく安定的な経営基盤を確立する

■2016年度事業計画（対外公表値）

（単位：億円）

【ご参考】

（単位：億円）

		単 体		連 結	
		2015年度（実績）	2016年度（計画）	2015年度（実績）	2016年度（計画）
受注高	土木	616	650		
	建築	512	500		
	開発等	10	20		
		1,138	1,170		
売上高	土木	677	667		
	建築	498	525		
	開発等	10	18		
		1,185	1,210	1,207	1,230
売上総利益	土木	(9.2%) 63	(7.6%) 51		
	建築	(9.0%) 45	(7.3%) 38		
	開発等	(9.1%) 1	(22.8%) 4		
		(9.2%) 108	(7.7%) 93	(9.8%) 119	(8.2%) 101
	営業利益	(5.1%) 61	(3.4%) 41	(5.5%) 67	(3.6%) 44
	経常利益	(4.6%) 55	(3.1%) 38	(5.0%) 61	(3.3%) 41
	当期純利益	(4.8%) 57	(2.6%) 32	(5.1%) 61	(2.8%) 34

中期3カ年計画（単体）		
2014年度	2015年度	2016年度
620	630	650
450	500	500
9	9	9
1,079	1,139	1,159
592	622	615
521	488	481
9	9	9
1,122	1,118	1,105
37	44	48
23	24	24
2	2	2
63	70	74
19	26	30
10	20	24
8	17	20

（注）「開発等」には、端数調整分を含む。

基本戦略の取組み

土木部門

基盤強化に向けての戦略的な案件取組

総合評価方式の継続取組強化

- 技術提案のスパイラルアップ、官積精度のさらなる向上
- 中長期的な案件取組の強化（有力案件の早期把握・選別）

看板工種のシェア確保 （トンネル シールド ダム）

- 「重点案件応札サイクル」の機能強化
▶プロセスチェック、事前応札検討会での検証

ベース収益源の利益底上

- 「案件選択基準」の厳格な遵守、原価管理フローの確実な展開
- 現場力・施工体制の強化（協会会との連携、生産性の向上等）

重点マーケットへの取組み

東京五輪 / リニア新幹線事業

- 東京五輪：首都圏3環状道を軸に都市再生案件の選別受注
- 中央リニア新幹線：トンネル案件への取組（社内プロジェクト組成）

インフラ維持/更新領域の取組推進

道路リニューアル工事への取組

- リニューアル技術開発の推進および営業展開

建築部門

不採算・低採算工事の徹底排除

取組体制と本支店連携機能強化

- 「建築工事受注フロー」「案件選択基準」の厳格運用（取組方針会議）
- 受注審査の厳格化、工事管理体制の強化（現場管理力、現場効率化）

「最良」顧客づくりの展開

ソリューション志向の徹底「特命化」の推進

- 民間顧客重視の取組み
- 重点エリアでの工務店型建築スタイルの推進

耐震ソリューション営業の展開

トグル制震技術および関連技術の展開

- 耐震リニューアル対応から新築適用への領域拡大

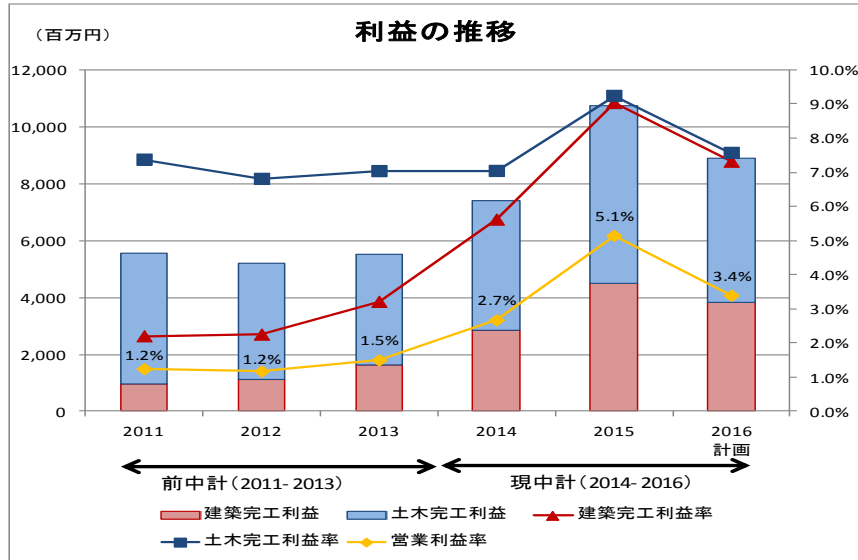
新たなアプローチで顧客基盤を拡充

建設コンシェルジュ機能の展開

- 多様化する顧客ニーズへのきめ細やかな対応強化

(ご参考) 業績の推移

経営成績

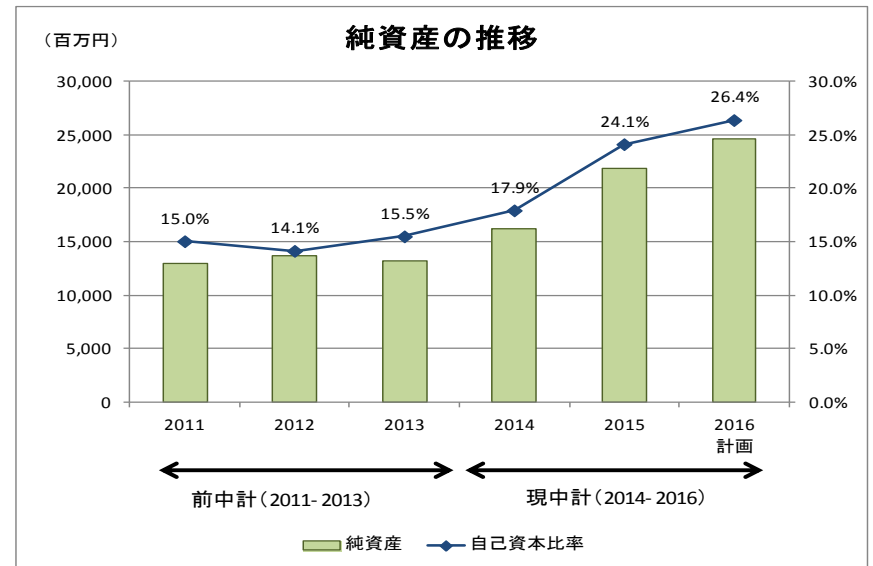


【単体】

(単位：百万円)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016 計画
土木完工高	62,241	60,112	54,783	64,491	67,667	66,700
土木完工利益	4,589	4,094	3,856	4,542	6,252	5,050
土木完工利益率	7.4%	6.8%	7.0%	7.0%	9.2%	7.6%
建築完工高	43,066	49,027	51,118	50,980	49,784	52,500
建築完工利益	948	1,104	1,642	2,864	4,496	3,840
建築完工利益率	2.2%	2.3%	3.2%	5.6%	9.0%	7.3%
売上高	106,308	110,029	107,026	116,383	118,470	121,000
営業利益	1,317	1,288	1,601	3,105	6,091	4,100
営業利益率	1.2%	1.2%	1.5%	2.7%	5.1%	3.4%

財政状態



【単体】

(単位：百万円)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016 計画
負債	73,206	82,740	71,817	74,446	68,622	68,600
純資産	12,955	13,616	13,164	16,263	21,832	24,600
総資産	86,160	96,356	84,982	90,709	90,453	93,200
自己資本比率	15.0%	14.1%	15.5%	17.9%	24.1%	26.4%

(注) 2016 B/S計画値は、想定値を使用。